

ナンバリング	A②05	科目名	現代社会論 「コンビニから社会の変化を考える」
担当形態	単独	担当教員	吉岡 秀子
ディプロマポリシーとの関連性	①, ③		
テキスト	なし		
開講時期	通年	単位数・ 授業形態	4単位・演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの進化の過程から社会における変化を理解し、説明できるようになること。 ・コンビニの商品やサービスのあり方から社会課題を見出し、議論し、解決策を検討できるようになること。 ・他者とコミュニケーションを取って意見をまとめ、積極的にプレゼンテーションできるようになること。 		
授業の概要	<p>暮らしに身近なコンビニは、社会の変化に応じて店のしくみや商品を変えて成長してきました。本授業ではコンビニを教材とし、現代社会の課題を考察します。商品やサービスがなぜ作られたのかといったケーススタディやワークショップを重ねることで自主的な学びにつなげ、自分たちがいかにして社会と関わっているのかを認識します。最後には、コンビニや企業の社会貢献活動から社会の課題は何かを考え、その解決の糸口を見つけます。</p>		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション(授業の方向性を共有する)</p> <p>第2回 コンビニの歴史・黎明期</p> <p>第3回 コンビニの歴史・成長期</p> <p>第4回 コンビニの歴史・成熟期～現在</p> <p>第5回 フィールドワーク: 浅草周辺探訪 ～外国人の多い観光地のコンビニを視察する</p> <p>第6回 ワークショップ: フィールドワーク後の議論と考察</p> <p>第7回 商品開発入門 ～コンビニはどうやって商品を開発しているのか</p> <p>第8回 ヒット商品が映す社会1 ～おにぎり</p> <p>第9回 ヒット商品が映す社会2 ～コンビニスイーツ</p> <p>第10回 フィールドワーク: カップヌードルミュージアム 横浜</p> <p>第11回 ワークショップ: フィールドワーク後の議論と考察</p> <p>第12回 ワークショップ: コンビニ新商品から社会のニーズを探る</p> <p>第13回 フィールドワーク: 都心の未来型コンビニを訪ねる</p>		

	第 14 回 ワークショップ: フィールドワーク後の議論と考察 第 15 回 コンビニから学ぶ「SDGs」 第 16 回 フィールドワーク:ファミリーマート本社・東京 第 17 回 ワークショップ: フィールドワーク後の議論と考察 第 18 回 フィールドワーク:セブン-イレブン～未来へ向けた実験店舗・千葉県松戸 第 19 回 ワークショップ:フィールドワーク後の議論と考察 第 20 回 ワークショップ:身近な「SDGs」を考える 第 21 回 SDGs 研究 発表会準備 第 22 回 SDGs 研究 発表会 第 23 回 ワークショップ: プレゼンテーション後の議論と考察 第 24 回 総括(年間授業を通じて学んだこと)				
準備学習と必要時間	新聞やネットニュースを読み、「社会に何が起きているか」を知るよう努めること (毎週 60 分以上)				
評価方法	・随時のレポート —50% ・プレゼンテーションを含む、授業内での積極的な取り組み・発言内容など 50%				
参考文献	授業中に適宜紹介します。				
特記事項	・リサーチするため、授業中にスマホなどの視聴を許可。(指示した時に限る) ・フィールドワークの日程・内容は変更する場合があります。 ・フィールドワークの交通費などは自己負担。				
課題へのフィードバック方法	課題やレポートは、コメントを書き加えて返却します				
卒業・免許状・資格との関連	卒業	必修	幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格		
教員の実務経験					